

奄美大島食肉センター公募型機器メーカー選定企画提案
審査結果報告書

平成 31 年 2 月

奄美大島食肉センター公募型機器メーカー選定企画提案選定委員会

1. 選定概要

奄美大島食肉センター公募型機器メーカー選定企画提案（以下「企画提案」という。）実施要領に基づき、参加資格を有する者を公募により募集し、奄美大島食肉センター公募型機器メーカー選定企画提案選定委員会による審査を経て、最優秀企画提案者を選定するに至りました。

2. 選定の経緯

平成 30 年 10 月 15 日（月）	企画提案実施の告知
10 月 15 日（月）	質問書受付開始
10 月 25 日（木）	質問回答期限
11 月 9 日（金）	参加表明書提出期限
11 月 15 日（土）	参加資格確認結果通知
平成 31 年 1 月 22 日（火）	企画提案書提出期限
1 月 30 日（水）	選定委員会 (プレゼンテーション・ヒアリング)

3. 審査結果等

(1) 参加表明者及び一次審査

企画提案募集の告知を行ったところ、2者から参加表明書の提出を受けました。

書類審査の結果、2者ともに応募条件を満たしておりましたので、この2者により二次審査を実施しました。

(2) 審査（プレゼンテーション・ヒアリング）

審査では、参加表明者担当チームの実力や課題に対する技術提案について評価を行うものとし、提出を受けた書類やプレゼンテーション・ヒアリングを基に審査を行いました。

審査の結果、下記の者を最優秀提案者として選定しました。

最優秀企画提案者（受付番号：2番）

マトヤ技研工業株式会社

4. 審査講評

本企画提案に対して、参加表明は2者あり、一次審査を通過した2者によりこれまでの業務実績や協力体制、食肉センター建設に取り組む基本的な姿勢や考え方などについて、提出された資料とプレゼンテーションにより審査を行いました。

まず、提案資料について、委員全員で2者の提案内容について確認を行い、その後のプレゼンテーションにおいて、提案内容やコストマネジメント及びランニングコストに対する考え方、排水処理等に関するヒアリングを行いました。

2者のプレゼンテーション終了後に各委員は評点を行い集計をとりました。

集計により2者の評点が算出された後は、各委員から審査についての意見をいただきました。この結果は、各委員の総合評価と一致しましたので、全11名の委員の一致を得たと判断し、受付番号2番を第1位、受付番号1番を次点と決定しました。

第1位となった受付番号2番は、施設の少人数・省力化が期待でき、施設建設後のメンテナンスの面でも優れていると評価されました。次点となった受付番号1番からも優れた提案をいただきましたが、施設の省力化や建設後の協力体制などの面において、評点につながるものが少なかったと考えられます。

総評しますと、今回、選定された提案は、施設運営に関して少人数・省力化の面はしっかりと図られていましたが、施設規模において、市の目指す“コンパクトで稼働可能な施設の建設”というところで見ると仕様書で提示した面積を大幅に上回っていました。

奄美市は、この提案を基に、本来の目的であるコンパクトな施設に加え、排水処理やランニングコストの面においても配慮の行き届いた施設建設に向けて、過大な施設建設にならぬよう、選定した業者および実際の利用者を含むここに参席する皆様と連携し、今後しっかりと協議を進める必要があります。

今後も皆様のご理解とご協力を継続していただくことを期待します。

奄美市食肉センター公募型機器メーカー選定企画提案選定委員会
委員長 川口博明（鹿児島大学）